

今日のキーワード 「欧州首脳会議」で結束強化へ（欧州）

「欧州首脳会議」は、欧州連合（EU）加盟国の首脳らが集まり、欧州の政治的方向性や優先事項などを議論する場で、正式には「欧州理事会（European Council）」と言います。15日から2日間の日程で行われる会議では、難民問題が主な議題となるほか、英国のEU離脱を問う国民投票実施についても議題に上る予定です。会議では、各国間の利害対立を調整し、EUの結束が強まることが期待されます。

ポイント1 難民問題はEU域外との国境管理強化へ軸足 難民受け入れ分担案を巡り、各国の利害対立

- 9月のEUの主要な会議では、16万人もの難民をEU各国で分担して定住者として受け入れる一方で、難民以外の不法入国者を取り締まるため、EU域外との国境管理を強化することを決めました。
- 国境管理強化は、各国分担での受け入れの決定に強く反対したハンガリーなどの意向を汲み、難民流入の抑制を目的としています。難民受け入れを巡り乱れた結束を強める狙いとも見られます。

ポイント2 難民認定ルールの見直し検討 多数の難民はドイツを希望

- 今回の「欧州首脳会議」では、国境管理強化の具体策に加え、ダブリン条約の見直しが議論される予定です。同条約は、難民が最初に滞在した国での庇護申請を義務付けています。
- 同条約があるため、ドイツを希望する難民は、最初にハンガリーなどへ入国し、その後ドイツに移動して難民申請しようとする。そのため、ハンガリー国境で多数の難民が不法にフェンスを越えました。しかし、同条約の適用を外すと、今度はドイツへの難民殺到が予想されます。こうした状況から、各国の利害が対立しています。

10月の欧州首脳会議の主な議題

難民問題

- ・域外との国境管理強化具体策
- ・トルコなど近隣諸国への支援
- ・ダブリン条約の見直し検討

英国の国民投票実施



(出所) EUの資料を基に
三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 「欧州首脳会議」での各国の利害対立の調整を期待

■ EU各国間の利害が対立する場面が増加

難民問題以外にも、EUの結束力が問われる場面が増えていきます。ギリシャは債務危機からユーロ圏離脱が危ぶまれました。また、英国では2017年末までにEU離脱を問う国民投票を実施することが公約となっています。

■ EUの結束が強まることを期待

利害対立の背景は、各国経済が低成長なうえ、財政に余裕が無く、EU内でも経済格差がなかなか縮小しないことです。「欧州首脳会議」で、各国の利害対立を調整し、EUの結束が強まることが期待されます。

ここも
チェック! 2015年 9月29日 最近の指標から見る欧州経済（2015年9月）
2015年 9月16日 「難民」解決へ世界規模の協力を期待（欧州）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。